

平成21年3月期 決算説明資料

平成21年6月22日
株式会社セレスポ

平成21年3月期 決算概要

平成21年3月期の総括

- 売上に関しましては、セールスプロモーション部門、セレモニー部門が減収となったもののフェスティバル(旧イベント)部門、コンベンション部門の増収により、対前期比+24百万円の8,414百万円となりました。
- 利益に関しましては、材料費および人件費の増加等により、経常利益は、対前期比▲94百万円の112百万円、当期純利益は、対前期比▲54百万円の42百万円となりました。

平成21年3月期 貸借対照表 (資産の部)

単位:百万円

科 目	今期	前期	前期比	備考
流動資産	1,623	1,852	88%	現金・預金、売掛金の減他
固定資産	4,732	5,046	94%	保険積立金、投資有価証券の減他
有形固定資産	3,870	3,872	100%	
無形固定資産	46	20	230%	
投資その他の資産	815	1,153	71%	
資産合計	6,356	6,898	92%	

平成21年3月期 貸借対照表

(負債・資本の部)

単位:百万円

科目	今期	前期	前期比	備考
流動負債	1,829	1,931	95%	1年内返済の長期借入金の減他
固定負債	647	1,033	63%	役員退職慰労引当金の減他
負債合計	2,476	2,964	84%	
資本金	1,370	1,370	100%	
資本剰余金	2,155	2,155	100%	
利益剰余金 (内当期純利益)	442 (42)	432 (97)	102% (43%)	
評価・換算差額等	▲26	37	—	
自己株式	▲61	▲61	100%	
資本合計	3,879	3,934	99%	

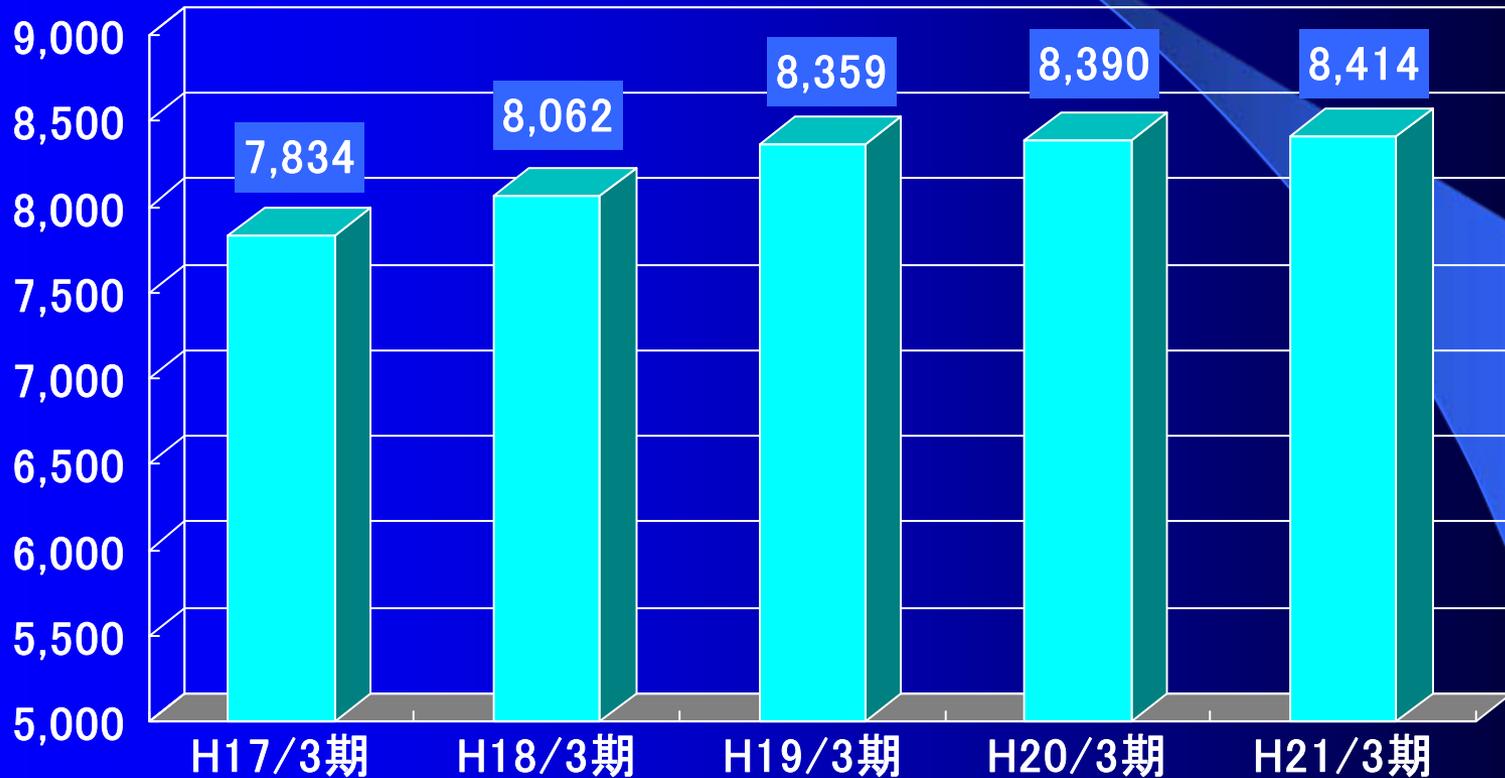
平成21年3月期 損益計算書

単位：百万円

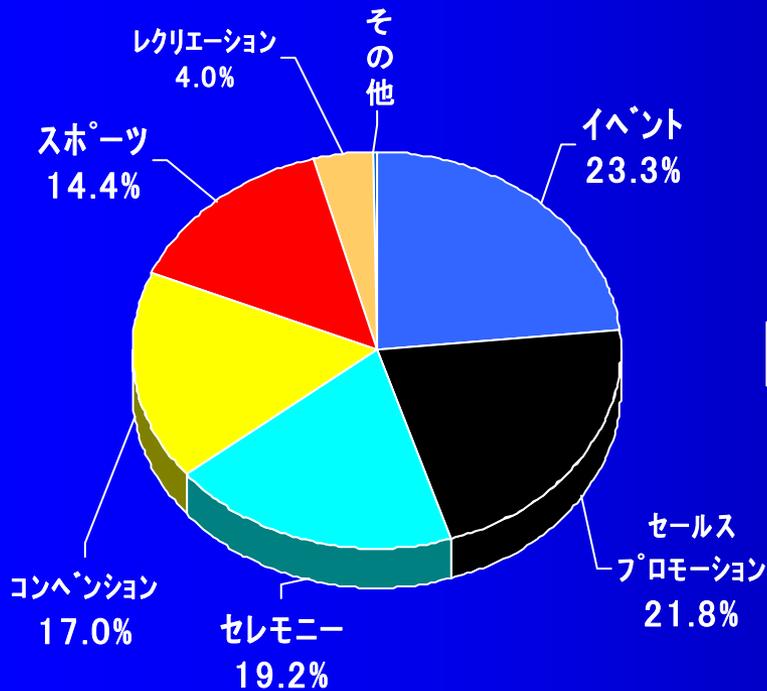
	今期	前期	前期比	備考
売上高	8,414	8,390	100%	
営業利益	113	188	60%	
経常利益	112	206	54%	
税引前 当期純利益	114	227	50%	
当期純利益	42	97	43%	
1株当り 当期純利益	7円79銭	17円79銭		

売上の推移

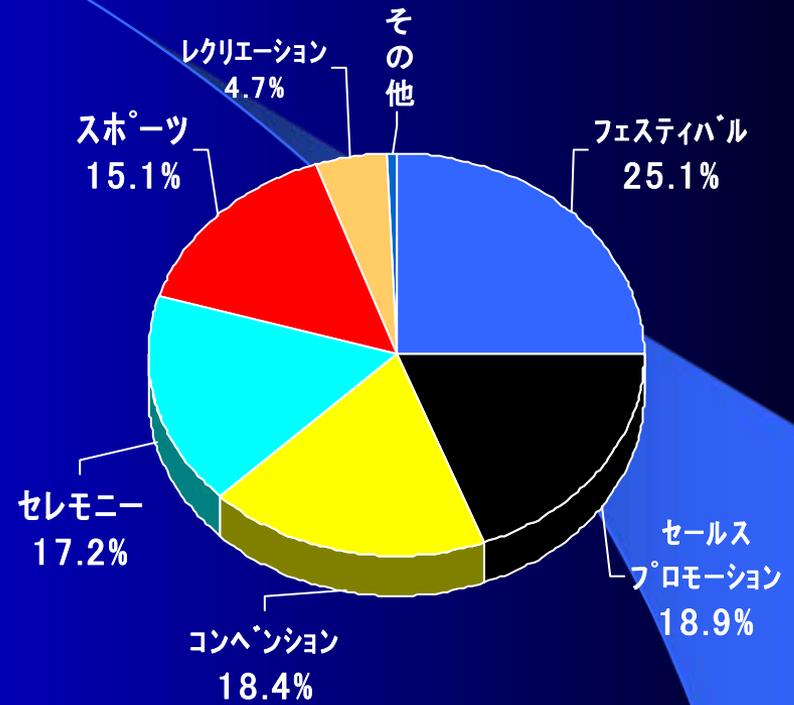
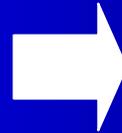
単位:百万円



売上構成比の比較



H20/3期



H21/3期

- フェスティバル(旧イベント)の増・・・(23.3%→25.1%)
- セールスプロモーションの減・・・(21.8%→18.9%)
- セレモニーの減・・・・・・・・(19.2%→17.2%)

部門別前期比分析

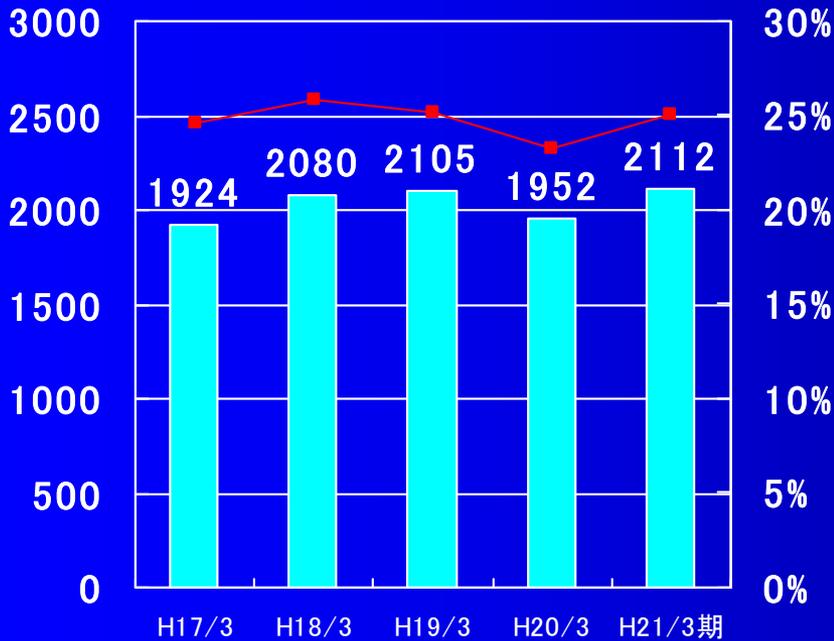
- フェスティバル部門
(旧イベント部門を改称)
市民祭受注堅調・八都県市防災訓練・有名私大周年行事受注等による増収
対前年同期比: +8.2%
- コンベンション部門
全国植樹祭初受注等による増収
対前年同期比: +8.4%
- セールスプロモーション部門
景気後退による企業収益悪化の影響による減収
対前年同期比: ▲13.0%
- セレモニー部門
一昨年の改正建築法の施行に加え、下半期の設備投資の急激な下落の影響による減収
対前年同期比: ▲10.6%

主要部門の売上高推移(1)

売上高
百万円

フェスティバル

構成比

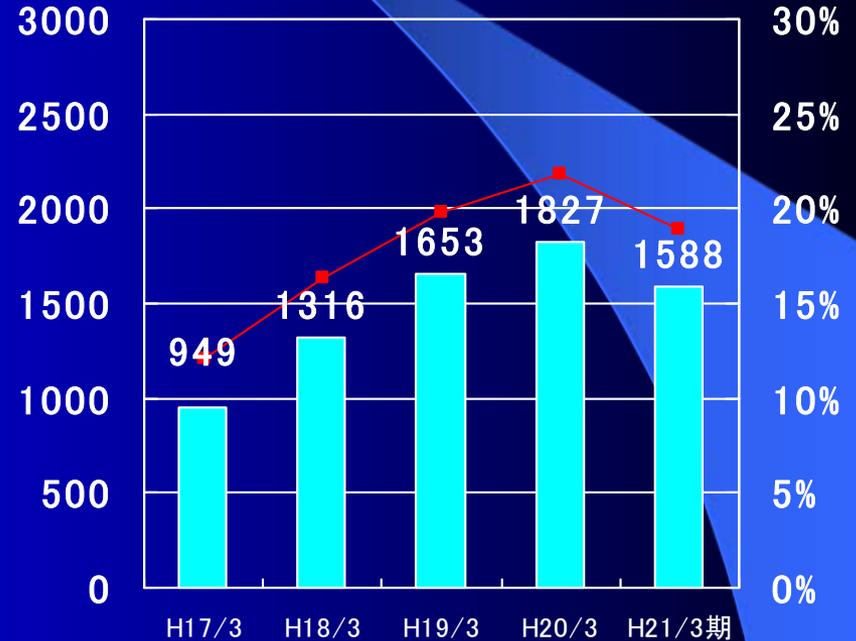


■ 売上高 ■ 構成比

売上高
百万円

セールス・プロモーション

構成比



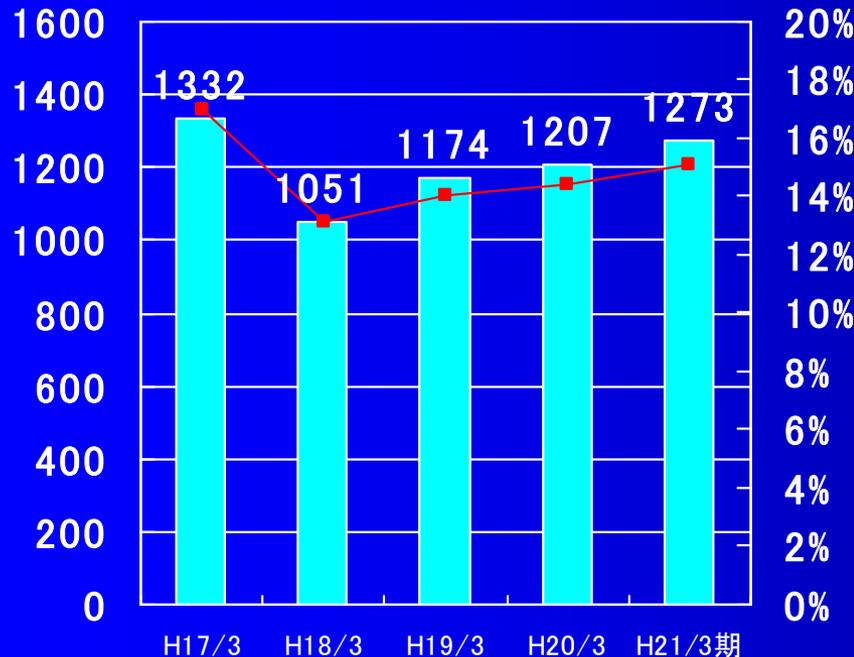
■ 売上高 ■ 構成比

主要部門の売上高推移(2)



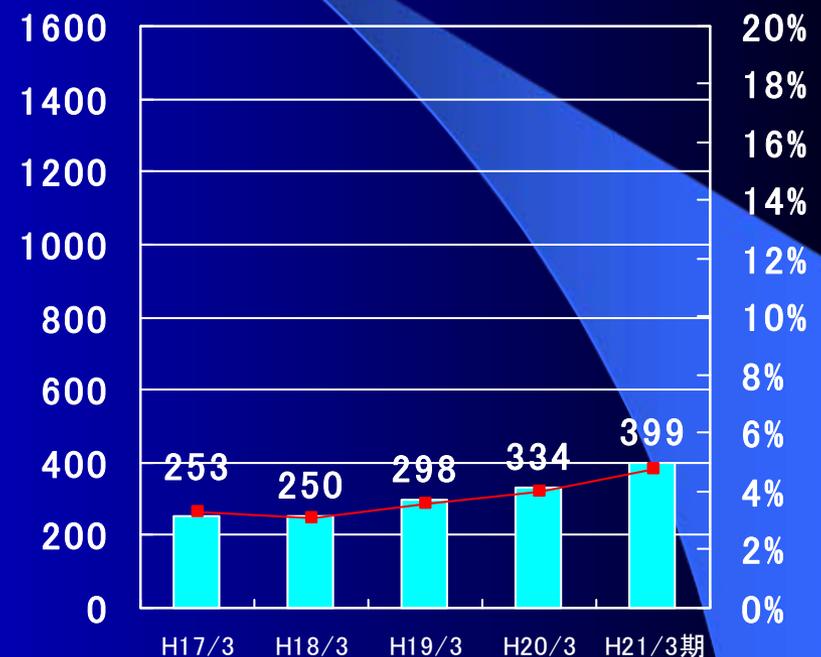
主要部門の売上高推移(3)

売上高 百万円 **スポーツ** 構成比



■ 売上高 ■ 構成比

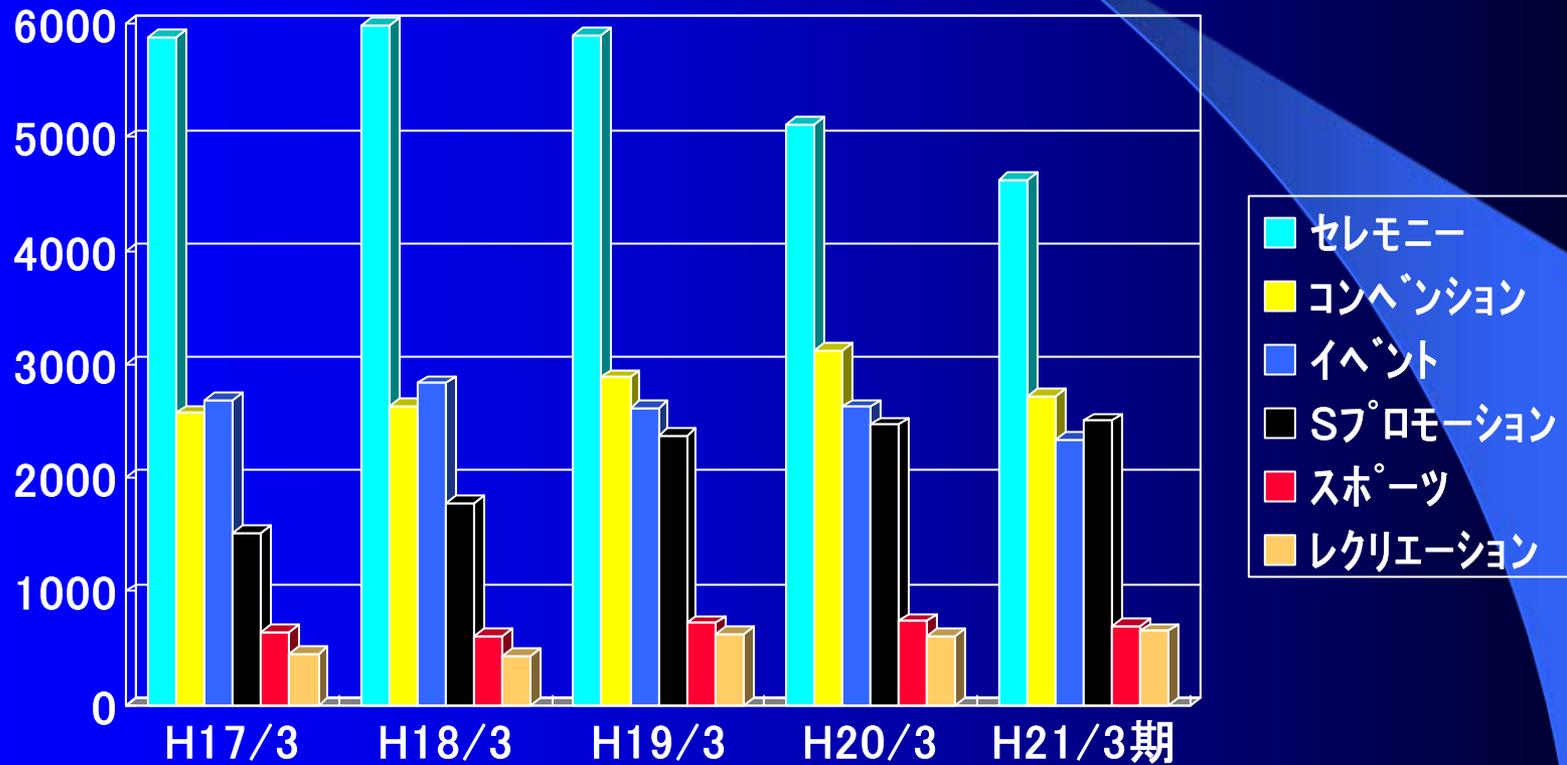
売上高 百万円 **レクリエーション** 構成比



■ 売上高 ■ 構成比

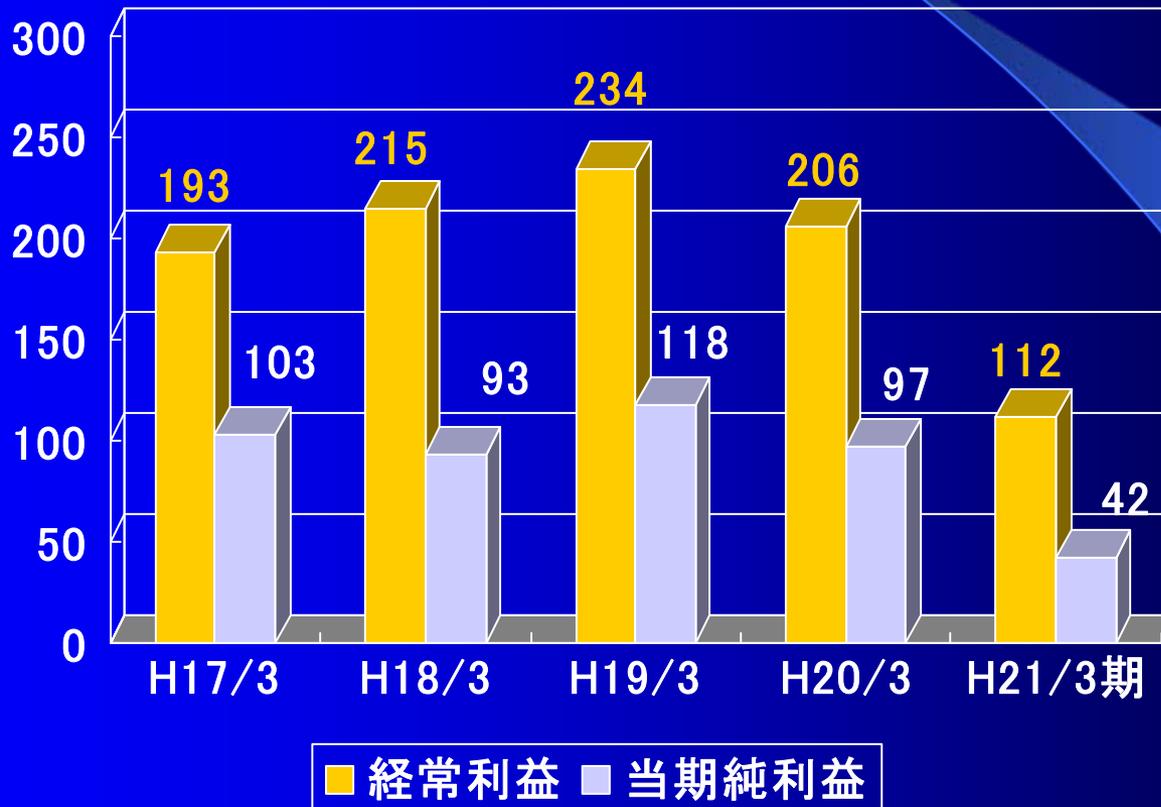
催事件数の推移

催事件数



利益の推移

単位：百万円



平成22年3月期 業績予想

平成22年3月期 業績予想

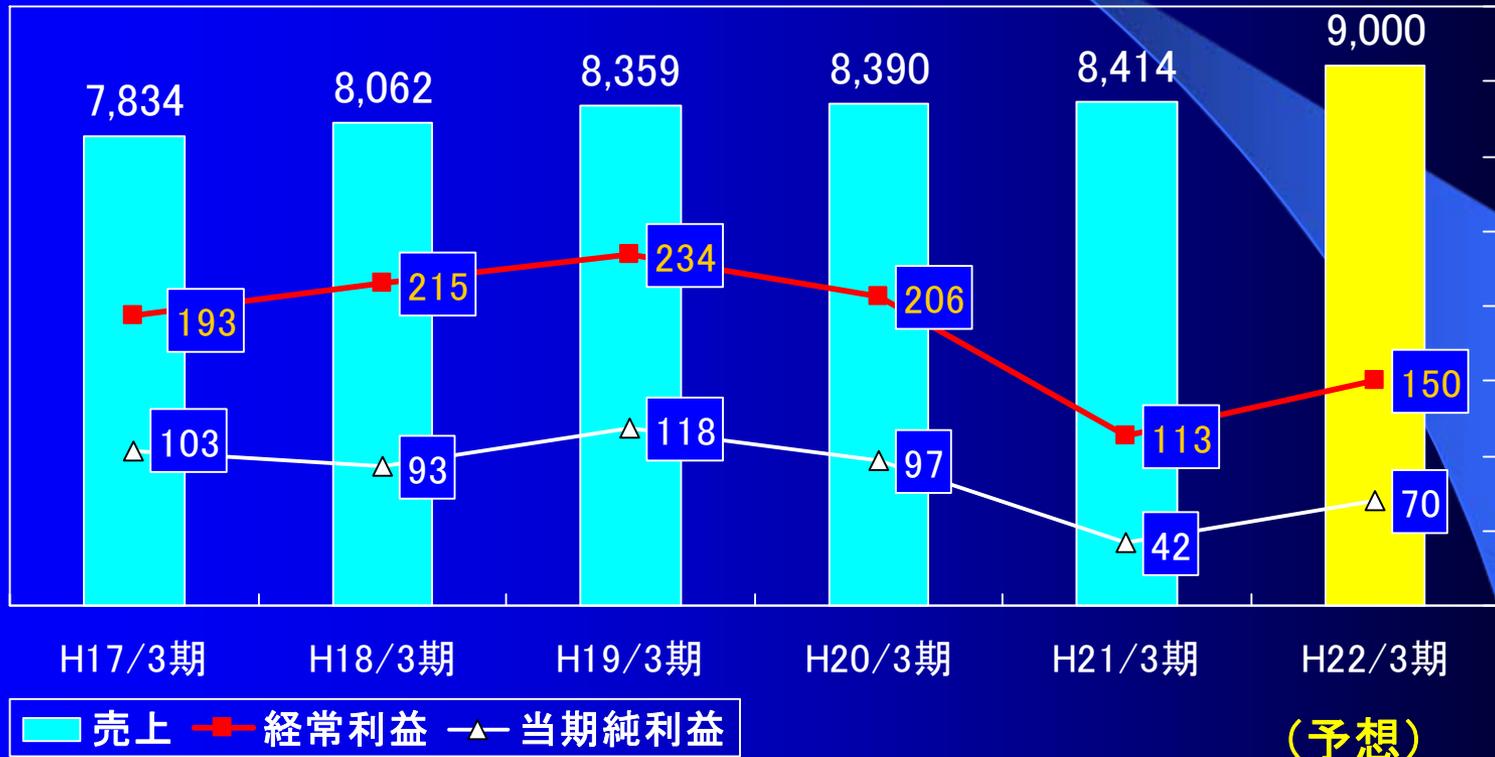
単位：百万円

	来期(予)	当期	当期比	備考
売上高	9,000	8,414	107%	
営業利益	155	113	137%	
経常利益	150	112	133%	
当期純利益	70	42	164%	

売上・利益推移(予想)

売上:百万円

經常利益:百万円
当期純利益:百万円



対処すべき課題

- イベント業界のトレンドに関わらず、官民各種のレベルにおけるニーズに的確に対応していくことで、当社の業績を伸ばすことは十分に可能
- 安定的な業績の確保を行いつつ、次の発展のチャンスを模索



- 外注管理と利益管理の合理化により、収益性を改善
- 外部協力会社の拡大・関係強化を図り社内固定費軽減により総合向上を推進
- 社員生産性向上 + パート・アルバイト・派遣社員比率向上
- 新しいビジネス展開に積極的に挑戦し、リスクをコントロールしながら可能性を試す
- より効率的な資金運用・調達

参 考

当社の経営方針

当社は、平成20年4月より新体制となったのを機に会社経営の基本に新しい考え方を導入しました。

それは…

当社を取り巻く、株主・顧客・取引先・社員などのステークホルダーとWIN-WINの関係を築くことを、すべての活動の起点にしようというものです。

従来の「集い創りの裏方に徹する事をもって、人間社会の円滑なる発展に貢献する」という経営理念も大切にしていきながら、この新しい考え方を基に、時代に即した対応を行っていくことで、株主・顧客にご満足いただけるような会社となるべく努力して参ります。

中長期的な経営戦略

① 当社の優位性の確保とその維持

- 全国展開拠点による地域密着型営業＋大型案件に対する機動的事業活動
- ユニバーサルデザイン化されたイベント会場の提案（バリアフリーライフ研究所）
- 震災に備えた地方自治体との緊急避難所設置協定（クイック24）
- 全国持回り大型イベント（国体・インターハイ等）の蓄積されたノウハウ

中長期的な経営戦略

②新規分野への積極的な参入

- 建築式典・官公庁イベントに続く柱として、企業の販売促進イベントやスポーツ関連、今までにない新分野への参入を試験的なものも含めて積極的に行なう

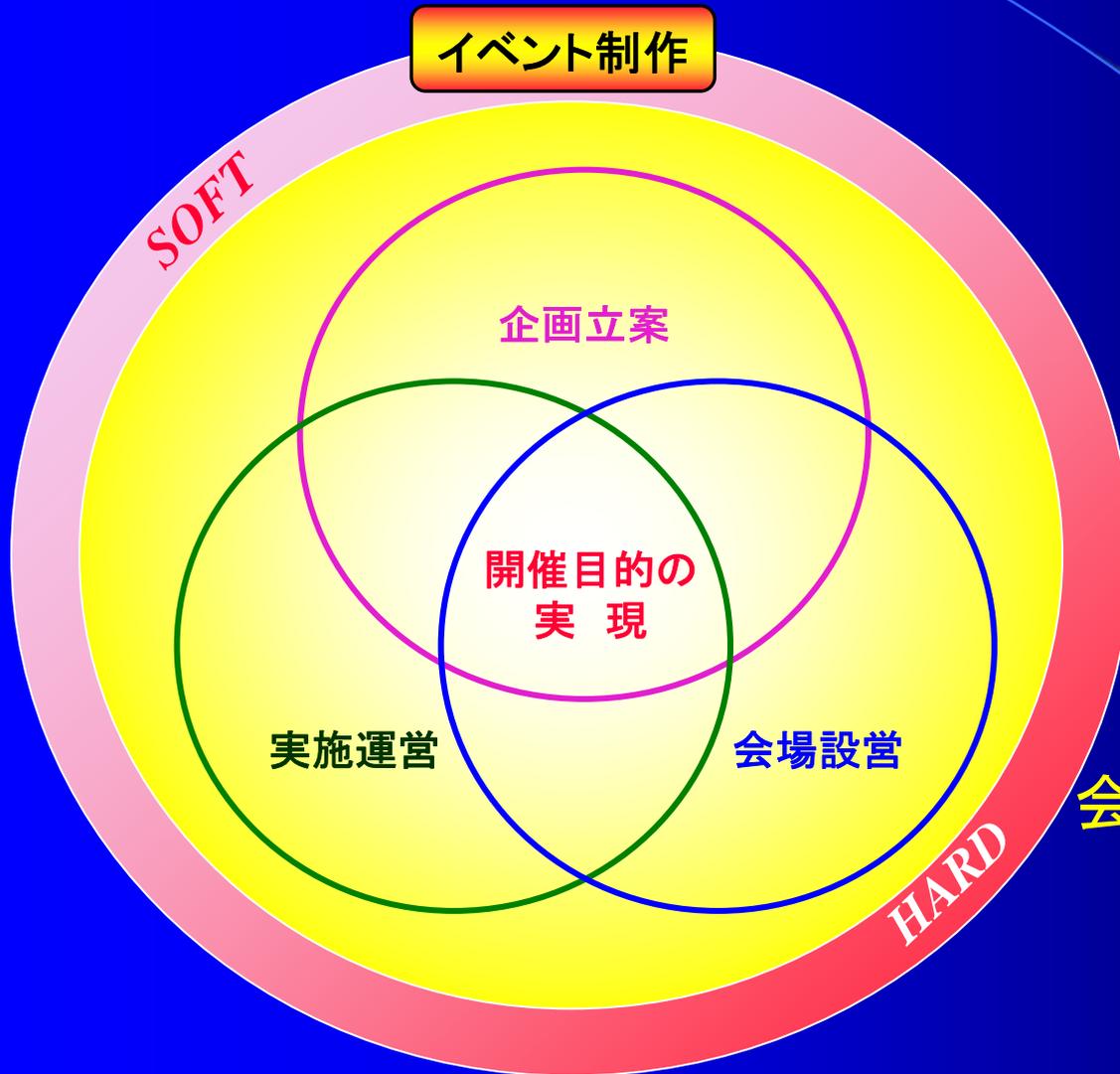
③総合的受注体制の確立

- 今までの営業力、会場設営能力の更なる向上に加え企画・制作・運営能力の育成・強化
- イベント会場設営の一部を外注設営に移行させながら、営業・制作活動へ軸足を移し、顧客起点に立ったサービスの充実によるシェア拡大

FAQ1:当社の事業領域は？

—イベント制作の3要素—

イベント制作



イベントの開催目的を
実現させる機能として、
次の3要素が不可欠

- ・企画立案
- ・会場設営
- ・実施運営



当社はイベントの
会場設営業からスタートし、
企画・運営まで
事業領域を拡大
(総合受注体制)

FAQ2: 部門の概要は？

当社の部門(ドメイン)は以下の7つに区分されています。

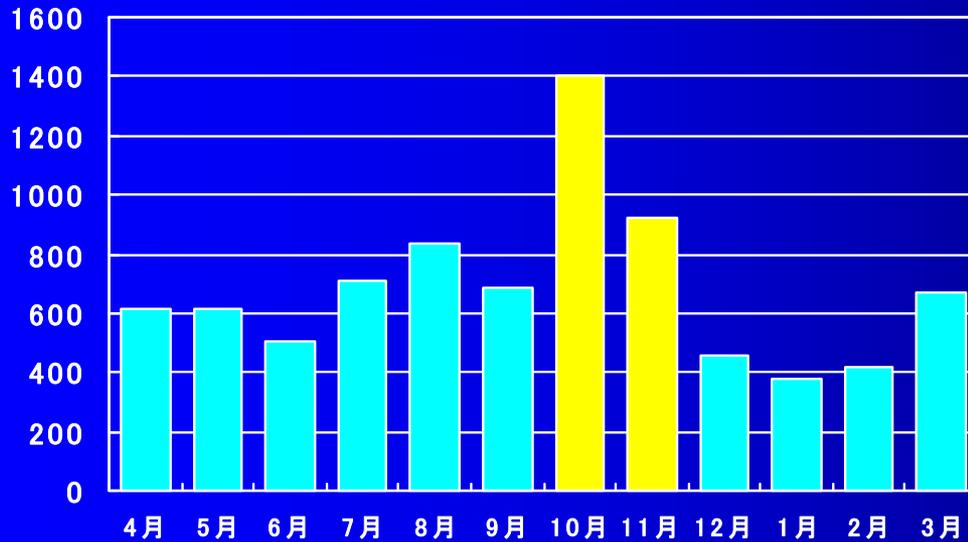
ドメイン	内 容	主要商品
セレモニー (建設式典)	建築・土木に伴う式典等	地鎮祭・竣工式
フェスティバル※	主に官公庁が行う地域振興催事等	市民祭・産業祭
スポーツイベント	スポーツに関連した催事等	ゴルフ・国体・ インターハイ
コンベンション	団体・企業が行う集会催事等	記念式典・会議
セールス プロモーション	企業が行う販売促進を目的とした催事等	展示会・見本市
レクリエーション	企業が行う福利厚生を目的とした催事等	運動会・納涼祭
その他	上記以外	

※32期より「フェスティバル」部門は、旧「イベント」部門から改称しました。

FAQ3: 季節要因は？

百万円

過去5年平均月別売上高



各月売上高比率



約28%

屋外イベント、スポーツ大会が数多く開催される
10月・11月が、当社にとっての繁忙期

FAQ4: やさしい社会のために

- バリアフリーライフ研究所
イベント会場のバリアフリー化を目指し、
1999年 業界初のバリアフリーライフ研究所を設立
- クイック24
震災に備えた緊急避難所設置（要請から24時間以内）
に関する地方自治体との協定
協定先: 46市区町村＋その他団体1（平成21年3月時点）
- 間伐材の使用
自然保護育成の為に「間伐材」等を積極的に設営資材
等に採用

株主メモ

証券コード	9625	上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
1単元の株式の数	1000株		
事業年度	4月1日～翌年3月31日		
定時株主総会	毎年6月中		
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日		
中間配当金	中間配当を行なう場合、その他必要のある場合は、あらかじめ公告いたします。		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		電話 0120(232)711 (通話料無料)
公告の方法	日本経済新聞に公告することにより行います。		
株式に関する お手続きについて	特別口座に 記録された 株式	<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定 ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式一般事務に関する一般的なお問合せ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-0801 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120(232)711 (通話料無料) 【書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話 0120(244)479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.mufg.jp/daikou/
	証券会社等 の口座に 記録された 株式	<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式一般事務に関する一般的なお問合せ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-0801 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120(232)711 (通話料無料)
		○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい

本資料に関するお問合せ

株式会社セレスポ

総務部

TEL:03(5974)1111

E-mail:inquiry@cerespo.co.jp